

令和3年度 学校評価【保護者アンケート】集計結果

令和3年11月に保護者の皆様にお願ひいたしました「本校教育に関するアンケート【保護者評価】」の集計が終わりましたので、考察と手立てを加えてお知らせいたします。

ご協力いただきましてありがとうございます。結果についてご報告申し上げます。この結果をもとに、今後本校の教育活動の改善を図って参りたいと思います。

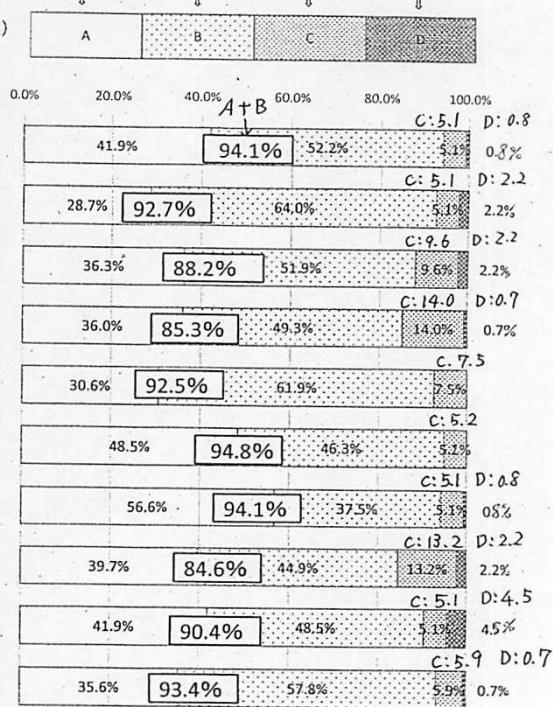
回答数136 / 家庭数136

回答率100%

(人)

No.	評価内容	A	B	C	D
1	学校は、子どもの安全・安心な環境づくりに努めている。	57	71	7	1
2	学校は、家庭や地域と協力し、あいさつや基本的な生活習慣、家庭での学習習慣づくりに努めている。	39	87	7	3
3	学校は、人との関わりを通して心を育てることを大事にし、居心地のいい学校づくりに努めている。	49	70	13	3
4	学校は、一人一人の活躍の場を工夫し、成長や頑張りを認めて、子どもの良さを伸ばそうとしている。	49	67	19	1
5	学校は、国語・算数やチャレンジタイムなどの他、外国語や道徳科などでも基礎的・基本的な学力を定着させるために、できる・わかる授業づくりに努めている。	41	83	10	0
6	学校は、スポーツ活動(ガンドタイム・運動会)や文化活動(音楽祭・がんどフェスタ)、地域学習(体験活動)、出前授業(外部講師活用)、読書活動(読み聞かせ)を推進し、活力ある学校づくりに努めている。	66	63	7	0
7	学校は、学習参観や運動会、ガンドフェスタ等の他、各行事の設定で工夫を凝らし、開かれた学校づくりに努めている。	77	51	7	1
8	学校・学級だより、保健だより、学校ホームページ、緊急連絡メール等を通して、学校の情報や取り組みや考え方をわかりやすく伝えている。	54	61	18	3
9	学校は、保護者からの連絡や相談事に対して、迅速かつ的確に対応している。	57	66	7	6
10	学校は、保護者や地域の方と協力して学校経営を展開し、よりよい教育環境づくりに努力している。	48	78	8	1

A:よくできている B:おおむねできている C:少し足りない D:足りない



考察と手立て

10の評価項目があります。上のグラフと共にご覧ください。

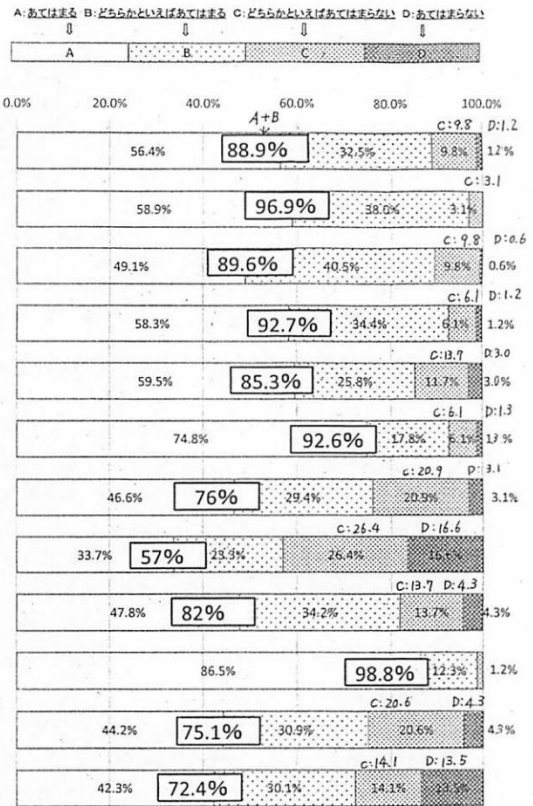
評価内容 1	<p>いじめの発見については、定期的なアンケートや面談の他に、週1回、子どもたちの様子について情報交換をする場を設けながら、子どもたちの変容を見逃さないように努めています。</p> <p>今年度もコロナ禍における安全確保や非常災害等に係る対応、熱中症が心配される時期の対応、登下校中の交通安全等について、教職員が一体となって組織的に体制を整え対応して参りました。特に今年度は、クマやイノシシの目撃情報が多く、その都度、関係機関と連携を図りながら、子どもたちの安全確保のために最善の方法を考えて対応して参りました。</p>
評価内容 2	<p>あいさつについては個人差があるため、今年度も重点課題をとらえて継続して指導して参りました。あいさつ運動を児童会活動の中心に据え、子どもたち自身があいさつの現状を振り返りながら活動を進めることで、少しずつ校内でのあいさつは改善されてきました。家庭学習については、学力向上を目指し、授業との関連、意欲の向上、習慣化等を考えながら、内容を検討してきました。また、今年度は「すこやか週間」の他に、「アウトメディア」への取り組みを年3回実施し、子どもたち自身が家庭での時間の使い方を見直す取り組みを行ってきました。回を重ねるごとに、子どもたちの意識が変わってきていますので、今後も、家庭との協力・連携を図りながら改善に努めて参ります。</p>
評価内容 3	<p>今年度もコロナ禍により、外部講師の指導や校外学習が制限されることが多い1年となりました。中でも、地域の先生方と触れ合う学習や異学年交流を大切にしてきました。また、福祉に関する学習や外国語科・外国語活動における異文化学習等を通して、多様な人々と関わることの大切さについても学習しています。子どもたち同士の関わりでは、思いを伝える言葉が足りないために友達と小さなトラブルになってしまうことがよくあります。各学年では、具体的な場面を通して、自分の気持ちを言葉で伝えることについて指導し、友達とのよりよい関わり方について学ばせていく必要があると感じています。</p>

評価内容 4	<p>コロナ禍により児童会や各種行事、各種運動大会等で活躍する機会がとれず、残念な思いをした子どもたちもいたことと思います。今年度は授業を中心に、子どもたち自身に目標や具体的に目指す姿をもたせて、自分の成長や変容を認めることができるように取り組みさせてきました。活動時間に余裕をもたせること、見通しをもたせて取り組ませること、授業や活動後の振り返りを行わせること等の支援により、自分の変容を自覚したり、互いのよさを認め合ったりすることが多くなりました。今後も、子どもたち自身が自分のよさを認めて、自己肯定感を高めていけるように努めて参ります。</p>
評価内容 5	<p>学校において、子どもたちが最も成長できる場合は授業だと考えています。学校では「主体的に考え学び合う子ども」を目指し、「みんなでつなぐ授業」の実践に向けて研究を重ねています。与えられた知識を受け取るだけでは理解は深まらず、自分で考えたことをアウトプットしながら学ぶことで、知識・理解は確実なものになります。学び合いのための話型カードの活用や話し合いの場の工夫等の支援を行いながら、これからも「できる・分かる」を実感できる授業づくりに努めて参ります。「できる・分かる」学習を定着させていくためには、家庭学習が支えとなりますので、今後とも、家庭学習における保護者の皆様のご協力をお願いいたします。</p>
評価内容 6	<p>ガンドタイムや運動会等のスポーツ活動については、形や日程を変えながらおおむね実施できましたが、文化活動はコロナ禍に係る規制により、予定通りに実施することはできませんでした。地域学習では、ホテルの学習、米づくりの学習、総合的な学習の時間や生活科の学習において、地域の先生方にご協力をいただきながら、充実した学習を行うことができました。</p> <p>読み聞かせも、ひだまりの会の皆様のお力添えにより、ほぼ計画通りに行うことができました。こうした活動は、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご尽力があってこそ実現できるものです。お力添えに心から感謝申し上げます。今後も充実した学習につながるよう内容や進め方の検討を重ねて参ります。</p>
評価内容 7	<p>コロナ禍で時期を変更し、昨年度同様、規模を縮小して実施された運動会でしたが、子どもたちの頑張りにより、コンパクトながらも充実した運動会を実施することができました。ただ、雨天により2回の順延となったために平日開催となり、多くの保護者の皆様にご参観いただけなかったことは、今年度の大きな反省点として大変申し訳なく思っております。</p> <p>持久走大会や縄跳び発表会等は、短時間ながら何とかご参観いただけましたが、学習参観を実施できなかったことは大変残念であり、来年度に向けての課題と考えております。</p>
評価内容 8	<p>学校だよりは毎月発行、学年だよりは毎週発行、学校ホームページ（ブログ）は毎日更新の流れで、定期的に学校の情報をお伝えして参りました。今後もこの間隔での発信を基本に学校情報の提供に努めて参ります。ただ、今年度は、コロナ禍により急きょ行事開催の再検討や変更を余儀なくされることがあったため、行事等のご案内が遅くなることもあり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。</p> <p>今年度も、自然災害や野生獣の目撃等については、緊急連絡メールを活用してお知らせする機会が多くありました。いずれの場合も、ご家庭で速やかにご対応くださり、心から感謝申し上げます。今後も、速やかに情報を配信するように努めますので、その際は、連絡メールをご確認くださいようお願いいたします。</p>
評価内容 9	<p>学校で何か事案が起きた時には、全教職員で情報を共有し合って、解決に向けた指導と支援を行います。すべての対応の基本は、事実関係の確認であると考えています。いじめ事案や生徒指導上の問題等が生じた場合は、事実関係が一致するまで何度も聞き取り等を重ねていきたいと思っております。事実確認に時間を要することもあるかもしれませんが、こうした過程が確実な解決につながると考えています。今後も保護者の皆様からお子さんの様子などをお聞きする場面もあると思っておりますが、保護者の皆様も、お子さんについて何か心配なことがありましたら、遠慮なさらずに学校にご相談ください。</p>
評価内容 10.	<p>学校は、保護者の皆様、地域の皆様のご意見や声には真摯に耳を傾けることを大切に参ります。今後もこの姿勢は継続すると共に、学校評価等でいただいたご意見に基づき、学校の運営や教育活動の改善を図って参ります。</p> <p>また、今年度から本校は「コミュニティ・スクール」となり、地域とPTAの皆様からなる「学校運営協議会」を年3回開催し、校長の学校教育運営方針を承認していただき、学校が目指す子どもの姿を協議会の皆様と共有して熟議を重ねて参りました。交通見守り隊の整備と充実が図られるなど、登下校時の安全確保につながる成果が見られました。今年度の成果を来年度の学校経営に生かすと共に、地域の教育力の一層の活用などをはじめ、ご家庭と地域が一体となった学校運営を一層進めていきたいと考えています。</p>

令和3年度 学校評価【児童アンケート】集計結果

全校生

No.	評価内容	A	B	C	D
1	毎日楽しく学校に登校していますか。	92	53	16	2
2	おはようございます・こんにちは・さようなら・ありがとう・ごめん なさいなどのあいさつをしていますか。	96	62	5	0
3	時計を見て、時間を守って行動していますか。	80	66	16	1
4	学校の決まり(規則)や人との約束を守っていますか。	95	56	10	2
5	進んで運動したり、外遊びをしたりしていますか。	97	42	19	5
6	家で宿題や自主学習をしていますか。	122	29	10	2
7	進んで読書をしていますか。	76	48	34	5
8	今住んでいる地域の行事などに進んで参加していますか。	55	38	43	27
9	先生や友達の励ましで、いろいろなことにチャレンジしようとして いますか。	77	55	22	7
10	いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか。	141	20	2	0
11	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をし ていますか。	73	51	34	7
12	困ったことや悩み事があると、家の人や学校の先生に相談し ていますか。	69	49	23	22



【成果】

「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」が90%以上の高評価の内容として、「いじめはいけないことだと思う」「あいさつをしている」「宿題や自主学習をしている」「規則・約束を守る」があげられます。

いじめはいけないことだと子どもたちが受け止めていることはよいことですが、それは当たり前のことと捉え、それでも起きてくる子ども同士の小さなトラブル等に丁寧に対応していきたいと考えています。また、本校の子どもたちのほとんどはルールをきちんと守ることができていますし、宿題や自主勉強もしっかり行っていますので、今後も規律ある学校生活を送れるように配慮して参ります。ただし、あいさつについては、我々教職員と子ども達の認識に少し差があるようです。児童会が中心となってあいさつ運動を進めることにより、子どもたちのあいさつはさらに向上できると思います。相手にしっかりと伝わるあいさつができるように、今後も指導していきたいと思ひます。

【課題】

「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」が80%以下の課題となる内容として、「地域行事への参加」「進んで読書」「家族に学校の話をする」「家族や先生への悩みの相談」があげられます。特に「地域行事への参加」が50%台に留まっているのは、コロナ禍による影響が大きいと考えられます。地域行事への参加を通してふるさとを慈しむ心を育むことはとても大切ですので、コロナ禍の制約が解消しましたら、地域の教育力を活用し、積極的に地域学習を進めると共に、地域行事への参加を促していきたいと思ひます。

学校では、週1時間(回)の読書の時間の確保、委員会による読書週間の取り組み、多読賞の表彰など、読書に関する様々な活動を継続していますが、進んで本に親しもうという意欲をさらに高めていければと思ひます。例えば、今年度は年3回の「アウトメディア」の取り組みを行っていますが、メディアから離れた時間を、家庭での読書や親子読書などに活用してみるなどが考えられます。学習と同様に家庭でも読書に取り組むことで意欲が向上し、読書が習慣化していくきっかけになるのではないのでしょうか。

No.12の「家族や先生への悩みの相談」に関わることとして学校では、

- ア) いじめ・心のアンケートをもとにした児童個別面談(年2回)
- イ) QUTテスト(楽しい学校生活を送るためのアンケート)(年2回)
- ウ) 学校評価(児童用アンケート)(年1回)

を行っています。これらの結果を生かしながら、子どもたちの様子や友達との関係などを見守り、子どもたちとの対話を大切に指導・支援にあたっています。また、何か問題が生じたときにはすぐに対応し、事実確認を丁寧に行って指導にあたるようにしています。ご家庭でもお子さんの話を聞いていただき、何か気になることがあればすぐにご連絡をお願いいたします。家庭と学校が連携しながら子どもたちに向き合うことで、子どもたちに周りの大人に対する安心感・信頼感が生まれてきます。困った時に周りの人に「困った。助けて。」と相談できるように環境を整えておくことが大切です。学校でも、子どもたちが担任に相談しやすいように配慮して参りますので、どうぞご協力をお願いいたします。

一番得意で楽しい学習として、①体育(31%)、②図工(28%)、③算数(12%)、もっと「分かるようになりたい」学習として、①算数(40%)、②国語(16%)、③社会(13% 3年以上)、外国語(13% 3年生以上)、があげられています。体育を筆頭に実技系の教科が得意ということと併せて、算数・国語の主要教科が「できるように・分かるように」になりたいという傾向は昨年度と同様ですが、算数が楽しいという割合がわずかですが上がってきました。これは週1回の算数タイムや授業改善の成果と捉えております。今後もこの成果を検証しつつ、よりよい授業づくりと授業実践に取り組んでいきたいと考えています。ほぼ毎日授業がある国語と算数が得意で楽しい学習となれば、子ども達の学習への意欲は大きく向上します。学校でもさらなる授業改善に努めて参りますが、ご家庭でも、粘り強く家庭学習等に取り組ませてくださいますよう、重ねてお願いいたします。

令和3年度 第2回いじめ発見アンケート【保護者アンケート】の結果について(令和3年11月実施)

	①あてはまる	②あてはまらない	③わからない	無答	回答数
1年1組	4	24	2	1	31
2年1組	4	25	2	0	31
3年1組	2	19	2	1	24
4年1組	4	28	0	0	32
5年1組	0	16	0	0	16
6年1組	1	29	1	0	31

※児童アンケートの結果は、学年ごとに集計しております。今回は保護者のアンケートの結果を報告いたします。

いじめ発見アンケートの集約結果について

いじめ発見アンケートにつきまして全回答を精査した結果、重大事態につながる事例はありませんでした。また、心身に傷害や苦痛を与える行為等が継続している事案等もありませんでした。ここに報告いたします。

しかし、いじめが疑われる事案、いじめにつながるおそれのある事案等、心配される事案は、いじめアンケートの時期以外にも確認されることはあります。普段から子どもたちの様子をよく見て変化を見落とさないようにし、問題が生じた場合は該当児童から聞き取りを丁寧に重ね、事実関係を明らかにして支援及び指導をして参ります。また、各学級で気になることが確認された時や心配な状況をお知らせいただいた時も、全職員で事実関係を確認し合い、組織として解決に向けて取り組んで参ります。お子さんについて、お困りのこと、心配なことがございましたら、いつでも学校へご相談ください。

今後の学校運営・教育活動を進めていく上で、大変参考になり、励みになる評価をいただきました。改善点につきましては、早急に対応して参ります。アンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。